

高校3年生の皆さん、受験勉強の進捗状況はいかがでしょう？学校も再開して1か月が過ぎるところですが、ぜひ、自分の進路を実現するために最大限の努力を重ねてください。過ぎた時間は戻りませんが、これからの時間を最大限、将来の自分のために使っていきましょう！

さて、この入試情報特別版は高校3年生のためだけに発行する進路通信となります。今年度の大学入試を取り巻く環境ですが、新入試の初年度という大きな変革を迎えただけではなく、昨年度末から続いたコロナ禍が様々な場面に影響を及ぼす事態となっています。一言でいえば「先行き不透明」な環境です。進路指導部では様々なリソースから得られる入試情報を分析し、君たちの進む路を照らし、不安を解消できるように情報を発信していきたいと考えています。共に闘いましょう！

21年度入試を取り巻く環境

①新入試

21年度入試において周知されている変更内容は以下の通り。

【従来】	【新入試】	【変更点】	
・指定校推薦、公募推薦	→ 学校選抜型	9/1 から出願	} 実施時期の後ろ倒し
・AO、自己推薦	→ 総合選抜型	11/1 から出願	
・一般	→ 一般選抜型	…共通テスト実施、 記述式・思考力系 の問題予告	

大学入学共通テストは昨年からドタバタしていました。英語外部検定利用の中止、国語・数学における記述式問題の中止など、現高校3年生は大きく振り回されてしまいました。しかしながら、**思考力系の問題設置、英語のRLの均等配点**等（実際は大学により配点比率は変わりますが…）の大きな変更は残されており、**従来のセンター試験と比べて難化**することが目に見えている状況です。当然ながら、各予備校が出す合否ラインもあまり参考になりません。

⇒「**学習負担増、合否ライン不透明**」

②学習活動の停滞

新型コロナウイルスの感染拡大防止措置により、授業が受けられない、模試も資格・検定試験も受けられない状況です。

⇒「**受験勉強の計画が立たない、受験校が定まらない**」

③景気の低迷

経済活動の収縮に伴い史上最悪とも言われる景気の悪化が予測されています。

21年度入試志願者動向予測

①現役志願者減

前述のような環境で心を折られ、「現役進学を諦める」「大学進学を諦める」「国公立大学を諦める」といった早々と諦める受験生が多数でてくるのではないかと予想されます。

②現役志願者の「超超安全志向」

近年は私立大学の入学定員充足率の厳格化、20年度入試でセンター試験廃止などの影響等で「浪人できない」状況が続きました。このとき、受験生の心理が志願者動向に顕著に現れたのが難関大を敬遠し、中堅私大に流れるという「超安全志向」でした。実際に首都圏の女子大学などは例年なら受ければ受かる受験生も受からないという状況が続きました。今年はさらに安全志向が強まることが予想されます。

③学校推薦型、総合選抜型の激増

②で挙げた「超超安全志向」は受験スタイルにも影響を与えます。実際に20年度入試（センター試験最後の年）では指定校・公募推薦、AO受験者数が例年を大きく上回っていました。ちなみに、これらの合格者数が増えたため、一般受験の合格者数を減らした結果、前述した女子大のような状況が生まれました。**今年の学校推薦型、総合選抜型はヤバいくらいに増える**と予想されます。

④資格系学部人気

経験的に、不景気の中では大学卒業後の就職難を見据えて、「理高文低」という理系学部志願者が増加する傾向にありますが、現3年生の中ではこれまでの「文高理低」の流れの中にあるので、特に21年度入試では「理高文低」は影響はありません。しかしながら、**教育学部などの資格系学部は志願者が増加**する可能性がありますので注意が必要です。

いま、してほしいこと

①国公立大学希望者

もしかすると、今年は**国公立大を敬遠する受験生が多い**かもしれません。好機ととらえて、必要教科・科目の基礎力育成（**苦手を残さない**）に注力してください。

②私立大学希望者

今年は、**学校推薦型・総合選抜型ともに激戦**が予想されます。一般選抜に向けて基礎学力の定着に注力しつつ、**小論文**などの練習にも早めに取り組んでください。

どうなる？大学入試スケジュール

コロナの影響による休校期間の影響は大きく、全国的にも学習の遅れなどが懸念されている中で、気になる大学受験のスケジュールについて、文科省が実施した全国の大学・高校へのアンケートの結果、高校の約7割が共通テストを予定通りに実施することを希望しており、また、大学側は会場確保の難しさから、予定通りの実施を希望していることがわかりました。この結果を受けて、文科省より「令和3年度大学入学選抜実施要項（通知）」が公表されました。気になる日程等を以下にまとめましたのでよく確認してください。

【総合型選抜】

当初予定されていた9/1以降の出願開始を**2週間遅らせる（9/15以降の出願開始）**。

【学校推薦型選抜】

スケジュールの変更はなく、予定通り11月以降の出願開始とする。

【一般選抜】

◎共通テスト実施日程

第1日程 1/16・17

第2日程 1/30・31（第1日程の追試を兼ねる）、追試験会場は**全国47都道府県に設置**する。

特例追試 2/13・14（第2回の追試を兼ねる）、（会場は従来の東京・大阪の2会場？）

◎国公立二次、私大個別

スケジュール自体の変更はない。文科省として**学習の遅れなどを考慮した作問等（選択問題の設置など）を各大学に強く要望**していく。

CAUTION!!

6月に入って、進路室にも多くの生徒が指定校推薦の情報を仕入れに訪れています。21年度入試の指定校推薦はまだ送られて生きていない状況で、**現在閲覧できる指定校推薦一覧は昨年度の情報**ですのでご注意ください！21年度入試の指定校一覧は**9月**に閲覧可能となる予定です。

模試、模試、模試！

6/25（木）、26（金）にフロンティア・特進の生徒は進研7月記述模試がやってきます！各自取り組んできた成果がでることを期待しています。さて、3年生ともなると、志望大学の判定がどうしても気になるところですよね？当然、気にしてもらって構いません！A判定、B判定なら**喜んでさらに勉強を続けてください**。C判定、D判定なら十分合格圏内ですから、**喜んで勉強を続けてください**（笑）。E判定なら…D判定との差を見てください。Dに近いEならまだまだこれからの努力次第。Dからかけ離れたEなら志望校の再検討が必要かと思います。担任の先生、進路の先生と相談しましょう。

さて、判定よりももっともっと気にしてほしいことがあります。それは、**自分が勉強してきた範囲・単元で点数がとれているかどうか**です。模擬試験までに受験勉強をすべて終えている受験生なんてほとんどいません。入試本番までにすべての範囲が終わればよし、各模試においては**学習してきた内容に漏れがないか**を確かめることが重要です。足元（基礎力）を固めて階段を上っていきましょう！ただし、**残り時間を考えて**ペース配分を考えましょうね（笑）

主体性評価について

高大接続改革の1つの目玉として主体性の評価が挙げられています。昨年の大学入試において、「合否に直接関係するものではないが、eポートフォリオを作成している受験生は今後の参考にするため提出をお願いします」と募集要項に記載していた大学が見受けられました。21年度入試から本格的に始まる新入試において、主体性評価はどのようになされるのか、いろいろと調べてみまわしたので参考にしてください。

◎出願要件として利用

多くの大学では、総合型選抜、学校推薦型選抜における提出書類として、**主体性にかかわる記載**を求めています。

◎合否ライン上の受験生の選抜に利用

ある大学では、「正規合格者のうち90%は学力検査により選抜、**残り10%は提出書類（調査書や主体性に関する記載書類）を参考に選抜**する」と公表されています。

総合型選抜、学校推薦型選抜入試を受けようと考えている生徒は、**ポートフォリオをまとめ、自分がどのように主体的に学びを進めてきたのかを振り返っておきましょう**。「主体的にやっていない」という生徒は、今からでも受けたい大学の情報（研究など）を調べ、それに繋がるような内容を調べてみましょう。